

資源・環境を考える
～インターネットを使って調べ学習～

教科書 P. ー

共同者名

★調べた国名

(E) グループ オーストラリア

* ホームページ

[http:// discover. australia. or. jp/chapter03/005. html](http://discover.australia.or.jp/chapter03/005.html)
[http://www. env. go. jp/policy/hozen/green/ecolabel/
world/australia. html](http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/world/australia.html)

1 環境に関するラベル

ラベル



説明

オーストラリアは、環境ラベルに関する国際ネットワークである GEN (Global Ecolabelling Network) に加盟している。ISO のタイプ I 環境ラベル (第三者認証) に分類される制度である。

2001 年 11 月に NPO であるオーストラリア環境ラベリング協会のプログラムとして運用している。認定商品数は 250 以上。

原材料の採取、又は天然資源の産出から最終処分に至るプロセスにおける環境負荷を考慮して判断基準を策定している。

年 組 番 氏名

2 ゴミ問題への取組

1 クリーンアップ・オーストラリア・デー

シドニー出身のヨット乗りが、自分の住んでいるシドニー港をきれいにしようと始めたゴミ拾いの運動。世界中の海をヨットで旅して、多くの国の美しい海岸がゴミで汚されているのを目にして心を痛め、シドニーに戻り、まずはシドニーからきれいにしようと考えた。このヨット乗りの呼びかけにこたえて、1989 年に「ゴミを拾う日」という運動が始まった。その年から 4 万人が参加する大規模なボランティア活動となった。翌年からはオーストラリア全土に広がり「クリーンアップ・オーストラリア・デー」となった。

2 リサイクル・プログラム

学校の活動で行われているもの。紙くずのリサイクルをしたり、家庭科の実習で出る野菜くずから堆肥を作ったりする他、アルミニウムの缶やプラスチック、ガラスのビンを集める特別なビン置き場を校内に設置して、リサイクルに励んでいる。



クリーンアップ・オーストラリア・デーに参加
する子供 / © Cleanup Australia Day



3 その他

★ 私たちが驚いたことベスト3 ★

- 1 オーストラリアはアルミ缶のリサイクルが世界一盛んである。
- 2 レジャーに訪れる国立公園では農業や土地開発は行われず、自然環境が守られている。
- 3 ヨーロッパからの入植が開始されてから今までに、およそ 20 種の鳥や哺乳類動物が絶滅したと考えられている。

☆ 番外 ☆

私たちと同じ年代の子も環境のボランティア活動をしている。

- ・ナショナルトラスト
- ・ランド・ケア（土壌保全）
- ・ストリーム・ウォッチ（水流調査）

☆ 調べてみて思ったこと、感じたことなど記入しよう。

オーストラリアは自然に恵まれ、過ごしやすい国であると思っていました。それには、国民の多様な自然環境を保護する必要があるという意識が高く、協力体制が整っていることがよく分かりました。多数の環境保護プログラムを通して積極的に環境を保護する姿勢を養おうとする努力がみられました。ゴミ拾い活動やゴミの分別やリサイクルをはじめ、植林や水質保全のための調査研究がしっかりと行われていました。

私達も日本の未来のために、毎日できるエコ活動を進んでやっていきたいです。

環境の3Rについて調べよう

★環境の3Rとは・・・(リサイクル recycle)
(リデュース reduce)
(リユース reuse)

「もったいない」を世界へ

★Mottainai Home